

## 1. 社会教育委員の会議

社会教育委員は、社会教育法第15条の規定に基づき、教育委員会の諮問機関として昭和30年から設置されています。定数は12名以内、任期は2年（再任は妨げない）で教育委員会が委嘱します。

主な職務は、1. 社会教育に関する諸計画を立案すること 2. 教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること 3. 必要な研究調査を行うことです。また、社会教育に関し意見を述べるすることができます。

### 社会教育委員名簿

任期2年（平成30年4月1日～平成32年3月31日）

No. 3、7の委員は任期2年（平成30年4月16日～平成32年3月31日）

No		氏名	職名等（就任当時）
1	議長	宇佐見 義尚	板垣與一記念館 館長
2	副議長	板垣 文彦	亜細亜大学 課程主任 教授
3		秋山 聡	武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会 元会長
4		荒井 恵凰	武蔵野市民芸術文化協会 会長
5		北村 淳子	武蔵野市青少年問題協議会 委員
6		嶋田 晶子	武蔵野市立第五小学校 校長
7		助友 裕子	日本女子体育大学体育学部 スポーツ健康学科 教授
8		竹内 敬子	成蹊大学文学部 教授
9		白田 紀子	NPO 法人 武蔵野自然塾 理事
10		舟橋 優子	武蔵野市体育協会 副会長
11		堀内 雄次郎	公益社団法人 武蔵野青年会議所 監事
12		若槻 善隆	武蔵野市立第一中学校 校長

## 2. 地域の大学等との連携

地域の大学との連携・協力のもと生涯学習を推進するため、平成5年2月に、市内にある3大学（亜細亜大学、成蹊大学、日本獣医生命科学大学）並びに武蔵野市に隣接している2大学（東京女子大学、武蔵野大学）の学長と市長による武蔵野地域学長懇談会を設置しました。（平成23年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施）

## 2 - 1 武蔵野地域五大学共同講演会

武蔵野市と五大学の共同事業として、平成6年度から実施しています。基調講演と、各大学を代表する講師による連続講演会を開催しています。平成30年度の統一テーマは「多様性と調和～『学び』がつなぐ五つの輪」です。

## 2 - 2 武蔵野地域五大学共同教養講座

平成9年度から五大学共同事業の一つとして開設しました。一大学4回、全20回にわたる長期連続講座を開催しています。

## 2 - 3 武蔵野市寄付講座

平成11年度より、地方自治体として初めて寄付講座を成蹊大学に開設し、13年度より東京女子大学、14年度より亜細亜大学、15年度より日本獣医畜産大学（現：日本獣医生命科学大学）、16年度より武蔵野大学と中近東文化センターでの講座が始まり、通年または半年の連続講座を行っています。（中近東文化センターでの講座は24年度で終了）

## 2 - 4 武蔵野地域自由大学

武蔵野市及び武蔵野地域五大学（亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学）が連携し、それぞれが保有する教育課程、人材、組織、施設等の資源を活用することにより、高度で継続的及び体系的な学習の機会を提供することを目的として、平成15年4月に武蔵野地域自由大学を開学しました。それぞれの大学に通って一般学生と共に授業を聴講することができます。

### ①学生数 平成30年3月31日現在（単位：人）

	市内	市外	計
男	587	144	731
女	659	135	794
計	1,246	279	1,525

### ②正規科目履修者数

平成30年3月31日現在（単位：人）

	市内	市外	計
男	135	30	165
女	116	19	135
計	251	49	300

### 3. 市民講座

広く市民を対象とした生涯学習の活性化を図るため、昭和 46 年に開設しました。教養・趣味などの講座のほか、地域社会に密着した内容で幅広く学習機会を提供しています。

実施事業	内 容
むさしの サイエンスフェスタ	身近な科学実験を体験することにより、子どもたちに科学の不思議さと面白さを感じてもらい、理科への関心や学ぶ意欲を向上させることを目的に、市立小中学校教員や地域ボランティア、企業、大学等による体験型実験ブースを多数開設する。平成 19 年度より実施。
子育て中の方のための モーニング・コンサート	子どもを持つ親を対象に、託児付きで音楽鑑賞の機会を提供することで、積極的な生涯学習への参加を促進する。
夏休み親子講座 親子 de サイエンス	夏休みに親子で科学の実験や体験をすることで、体験機会の少ない小学校低学年は理科の楽しさを学び、小学校高学年は大学の充実した施設と教材を用いて、科学実験の指導を受けることにより、科学への知識と興味を深める。
中近東文化センター 夏休み親子体験講座	中近東文化センター附属博物館の施設見学と体験講座を通して興味を広げ、知識を深める。平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。
いきいきセミナー (前・後期)	昭和 41 年度開設の「老壮大学」を平成 15 年度から「老壮セミナー」、21 年度より「いきいきセミナー」に改名。高齢者に学習と仲間づくりの場を提供することにより、学ぶ喜びの体得や生きがいをもって心身ともに健全な生活をしていくことを支援する。平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。
老壮シニア講座 ・趣味の作品展	いきいきセミナー修了生の連合体である市民団体（老壮連合会）が、同修了生等を対象にさらに学習等の機会を提供することにより、高齢者が豊かな生活をしていくことを目的に実施している事業・講座。市教委と共催。「老壮大学院」から平成 15 年度に改名。平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。
聴覚障害者教養講座	聴覚障害者が、幅広い教養を身につけ多くの市民とともに学ぶ機会を提供し、その社会活動を援助するため、昭和 48 年に開設された。平成 18 年から武蔵野市教育委員会と武蔵野市聴覚障害者協会（現 武蔵野市聴覚障害者協会）との共催になった。平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。

## 4. 土曜学校事業

完全学校週5日制により休みになった土曜日を活用して、学校の授業ではなかなか学べない体験を中心とした学習の場として、小中学生を対象とした「土曜学校」を開設しています。

「ひらめく かんじる かんがえる 楽しい学び舎 土曜学校」をキーワードとし、平成29年度は13事業・16講座を実施しました。各プログラムの概要は以下のとおりです。

### 平成29年度プログラム

#### ① サイエンスクラブ

学校での授業では行われなような理科の実験や観察を楽しくわかりやすく行い、体験し、理科に対する興味や知識を深めます。

#### ② ピタゴラスクラブ

パターンブロックを使い図形の中の法則に気づき、発見することで算数の面白さや楽しさを体験します。この体験を通して、算数により深い興味・関心を引き出します。

#### ③ ピタゴラスクラブⅡ

学校の算数ではあまり扱わない、考えて楽しい問題に触れることで、考えることの面白さ、算数の楽しさを体験します。

#### ④ プロに学ぶ！おかねのしくみ探検隊

実際に金融機関に勤務する社会人からお金のはたらきや役割について直接学習しました。ゲームやクイズを通してお金の計画的な使い方、経済の仕組みについて楽しく、興味や知識を深めます。

#### ⑤ 読む！聴く！伝える！ことば探検隊（平成27年度に「朗読ことばあそび倶楽部」から改名）

専門家による言葉の多様な表現方法により、声の出し方や言葉の響き、読み方の違いなどを感じ、自分の意思を伝えることを通して自主性や社会性を育むとともに、ことばの面白さを体験する講座です。平成23年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。

#### ⑥ 世界を知る会・世界を知る会ジュニア

異文化共生社会に適応できる基礎を身に付けることを目的として実施しました。異文化理解の専門家、外国人講師などを迎えて子どもたちが興味を持つ素材（言葉、遊び、音楽、食べ物など）を切り口に、世界の多様な文化や人に触れる機会を提供しました。平成23年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。

#### ⑦ 亜細亜大学経営学教室

チーム対抗の経営シミュレーションを通して経営の仕組みを学び、集団での意思決定のために必要なスキルの獲得を目指しました。平成23年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。

#### ⑧ 成蹊大学ロボット教室

医療・災害現場などますます人々の生活に関わってきているロボットという素材を通して、自ら考える力を養いました。また実際にロボットを作って動かしてみることにより、物作りの楽しさを味わいながら、テクノロジーを理解する機会になりました。平成23年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。

- ⑨ 東京女子大学英語体験講座  
ゲームや手遊び歌で身体を動かし、楽しみながら英語に親しむアクティビティを通して、英語に関する興味や関心を引き出す体験講座です。平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。
- ⑩ 日本獣医生命科学大学バイオ実験教室  
DNA に関する実験やクイズを通じて、わかりやすく生命科学の基礎を学び、理解を深めます。身近なテーマで好奇心を引き出し、科学的な見方や考え方を養います。平成 24 年度より実施。
- ⑪ 武蔵野大学リズム道場  
いろいろな太鼓を楽譜のない自由なリズムでたたくことにより、子どもたちの表現力・感受性・柔軟性を高めます。平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。
- ⑫ 森林体験教室  
二俣尾・武蔵野市民の森（青梅市）において小・中学生を対象に動植物の生態観察、森の探検、沢遊び、たき火等の自然体験や、間伐、薪割り、木の皮むき、丸太切り、木を組み合わせて作る基地等の林業体験を通じて、森林保全の難しさや大切さを学びます。平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。
- ⑬ スポーツ教室  
日頃学校では体験できないスポーツをとおして、心身をきたえるとともに、友達の輪を広げるためのスポーツ教室です。ミニバスケットボール、卓球、バドミントンの 3 種目の講座を実施します。平成 23 年度より事務の一部は（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が実施。

## 5. 視聴覚教育

### 5 - 1 視聴覚備品貸出し

平成 29 年度貸出し備品

16 ミリ映写機	3 台
スライド映写機	1 台
16 ミリ映画フィルム	283 本
ビデオテープ	11 本
DVD	6 本
スクリーン	1 本
暗幕	20 枚
OHP	1 台
ビデオプロジェクター	1 台

\*その他、生涯学習スポーツ課長が認めたもの

### 5 - 2 16 ミリ発声映写機操作講習会

公立の視聴覚ライブラリー等から 16 ミリフィルムを借りて映写する場合には、「16 ミリ発声映写機操作講習」を受講し、修了証の交付を受けた者が操作することになっています。

教育委員会では、市報等で受講者を募集し、講習会を開催していましたが、平成 29 年度をもって終了いたしました。

### 5 - 3 16 ミリ発声映写機検定

公立の視聴覚ライブラリーの 16 ミリフィルムを利用する場合、使用する映写機は各区市町村の行う 16 ミリ映写機検定を受け、検定証明書の交付を受ける必要があります。教育委員会では、毎年 1 回検定を実施しています。

## 6. 未来をひらくはたちのつどい（成人式）

成人の日に、満 20 歳を迎えた青年男女の新しい門出を祝福して、市・教育委員会・選挙管理委員会の主催による成人式を開催しています。

平成 18 年度より、成人式実行委員会を設置し、新成人世代の協力を得て企画・運営しています。

（平成 29 年度実績）

日 時 平成 30 年 1 月 8 日（月・祝） 午前 10 時 30 分～午後 0 時 20 分  
場 所 武蔵野市民文化会館 大ホール  
対 象 平成 9 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までに生まれ、武蔵野市在住  
または出身の方 1,433 名  
参 加 者 675 名（参加率 47.1%）

（平成 30 年度予定）

日 時 平成 31 年 1 月 14 日（月・祝）  
場 所 武蔵野市民文化会館 大ホール  
対 象 平成 10 年 4 月 2 日から平成 11 年 4 月 1 日までに生まれ、武蔵野市在住  
または出身の方

## 7. 芸術・文化の振興

市民生活をより豊かなものとするため、芸術・文化の鑑賞や体験の機会を提供し、また、芸術文化団体の育成・支援等を、（公財）武蔵野文化事業団とも連携して行っています。

事業名	内 容
市民文化祭	市民による自主的な芸術文化の祭典として、平成 2 年より武蔵野市民芸術文化協会に事業の企画運営を委託している。 芸術文化活動の創造と発表の機会を提供し、市民相互の交流を深めることを目的として実施している。 30 年度：31 事業
音楽団体育成	市民自らが演奏し音楽を創りだす喜びを知ることを目的とした音楽団体を育成支援している。 武蔵野市民交響楽団 昭和 50 年創団 団員 182 名（平成 30 年 4 月 1 日現在）
市民芸術文化協会の育成	昭和 63 年 10 月に発足した市民芸術文化協会の自主イベント事業や芸文講座の等の運営に対して育成支援している。 30 年度：自主イベント（19 事業）、芸文講座（3 事業）

## 8. 文化財保護・普及

文化財の保存及び活用と市民の文化財保護意識の向上を図るため、昭和 45 年に文化財保護条例を制定し、文化財保護委員会議、民俗資料の収集と保存、指定文化財の保護、埋蔵文化財の調査などの文化財保護事業と文化財講座、文化財の展示・活用などの文化財普及事業を行っています。

### 8 - 1 文化財保護委員

文化財保護行政を進めていく上で、専門的知識を必要とする事項に関する諮問機関として、武蔵野市文化財保護条例に基づき文化財保護委員を設置しています。委員は、高い見識を有する学識経験者の中から市教育委員会が委嘱し、任期は2年です（ただし再任を妨げない）。

文化財保護委員名簿（順不同）

（任期 平成 28 年 10 月 7 日～平成 30 年 10 月 6 日）

氏名	現職等	専門分野	委員経歴
松尾 美恵子	学習院女子大学名誉教授	日本近世史	委員歴（平 8 年 10 月～） 議長（平 28 年 10 月～）
内川 隆志	國學院大学博物館 副館長 國學院大学研究開発推進機構教授	考古学・ 博物館学	委員歴（平 10 年 10 月～） 副議長（平 28 年 10 月～）
森 安彦	国文学研究資料館名誉教授	日本近世史	委員歴（昭 45 年 7 月～）
稲葉 和也	建築史家	建 築 史	委員歴（平 14 年 10 月～）
深井 雅海	聖心女子大学教授	日本近世史	委員歴（平 14 年 10 月～）
林 譲	東京大学史料編纂所教授	日本中世史	委員歴（平 14 年 12 月～）
濱野 周泰	東京農業大学教授	造園樹木学	委員歴（平 16 年 10 月～）
川瀬 恵子	元・武蔵野市民俗資料調査収集協力 員	民俗資料	委員歴（平 20 年 10 月～）
中野 達哉	駒澤大学教授	日本近世史	委員歴（平 20 年 10 月～）
久保田 裕道	東京文化財研究所 無形民俗文化財研究室長	民俗学	委員歴（平 27 年 10 月～）



## 8 - 2 文化財保護事業

文化財保護のため、下表のような事業を行っています。

事業名	内 容	対 象
指定文化財保護	指定文化財を適切に保護・管理する。市指定文化財の管理者に対して維持管理謝礼を給付している。	国・都・市指定文化財
埋蔵文化財保護	埋蔵文化財包蔵地における土木工事等を監視し、現状保存が不可能な場合は、発掘調査等の手法で記録保存を行う。また、範囲確認調査などを行い、市内遺跡の詳細把握に努める。	市内随時実施
民俗資料調査収集	市内の有形・無形の民俗資料を調査収集する。	市内随時実施

## 8 - 3 文化財普及事業

文化財保護意識の向上と普及を目的として下表のような事業を行っています。

事業名	内 容
文化財講座	<p>◎古文書解読講座（初級編・特別講義編） 市内に存する近世の古文書群を解読することにより、郷土の時代背景を学び、郷土と文化財に対する理解と関心を高める。昭和 50 年開設。</p> <p>◎むさしのばやしチビッコ教室 市指定文化財「むさしのばやし」の保存と継承者育成。また、武蔵野市の郷土芸能を体感することで、子どもたちが地域に愛着を感じ、まちを大切に作る豊かな心を育む。</p> <p>◎むさしの発見隊 地域の様々な資源や場所について、歴史・文化・自然の各分野から多角的、総合的に学ぶ機会を提供し、小学生に「武蔵野市らしさ」を伝えること等を目的として事業を実施している。</p> <p>◎まゆだまづくり教室 武蔵野市域で伝承されてきた「まゆだまづくり」は家の繁栄を願って行ったものであり、こうした郷土の文化に親しんでもらう。</p> <p>◎井の頭自然文化園動物観察教室 学校では体験できない天然記念物をはじめとする希少動物とのふれあいを通じて、天然記念物の保護及び生態系バランスの維持の大切さを知ってもらい、また自然科学への興味や知識を深めてもらう。</p>
文化財展示	市内の文化財（指定文化財・埋蔵文化財・民俗資料）を定期的に展示・公開することによって、文化財に対する市民の関心と理解を促し、保護意識の向上を目指す。
その他	「文化財防火デー（1月26日）」・「多摩郷土誌フェア」等の事業を通して、文化財保護意識の向上に努める。

## 8 - 4 指定文化財一覧

文化財保護条例に基づき、文化財を有形文化財・有形民俗文化財・無形民俗文化財・史跡・天然記念物に分類し、市民全体の文化財として後世に伝えるべきものを選んで指定しています。

### ①武蔵野市指定文化財

市指定有形文化財	
名 称	所 在 地
旧関前村名主役宅	八幡町 個人
延命寺の護摩炉	八幡町 1-1-2 延命寺内
安養寺の梵鐘	吉祥寺東町 1-1-21 安養寺境内
井口家古文書	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 八幡町 個人
月窓寺の乾漆造白衣観音坐像	吉祥寺本町 1-11-26 月窓寺内
観音院の来迎阿弥陀如来像	境南町 2-4-8 観音院境内 (所有者) 境 個人
武蔵野八幡宮の蕨手刀	吉祥寺東町 1-1-23 武蔵野八幡宮
井口家の高札	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 八幡町 個人
井野家古文書	西久保 個人
河田家古文書	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 吉祥寺本町 個人
榎本家古文書	西久保 個人
村絵図と野帳	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※
御門訴事件記念碑	八幡町 個人

※については、武蔵野ふるさと歴史館が管理を行っている。

市指定有形民俗文化財	
名 称	所 在 地
小林家の民間信仰資料	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※
高橋家の民間信仰資料	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※
岡田家の民間信仰資料	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 緑町 個人
秋本家の民間信仰資料	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※ (所有者) 関前 個人
稲荷神社の絵馬	緑町 1-6-5 稲荷神社神楽殿内
岡田家の民間信仰資料 「だらにすけの看板」	吉祥寺北町 4-8-3 中央図書館※
安養寺の甲辛(庚申)供養塔	吉祥寺東町 1-1-21 安養寺境内
更新橋の庚申塔	緑町 3-829 先 (緑町 3 丁目 2 番)
境南町の庚申塔	境南町 3-782-3 (境南町 3 丁目 25 番)

市指定無形民俗文化財	
名 称	所 在 地

むさしのばやし	むさしのばやし保存会
---------	------------

市指定史跡	
名 称	所 在 地
杵築大社の富士山	境南町 2-10 杵築大社境内

市指定天然記念物	
名 称	所 在 地
成蹊学園のケヤキ並木	吉祥寺北町 3 丁目 成蹊学園
井口家のサンシュユ	八幡町 個人
井口家の大ツバキ	八幡町 個人
源正寺のイヌツゲ	緑町 1-6 源正寺境内
高橋家の大ケヤキ	境 3-10 境三丁目緑地内
杵築大社の千本イチョウ	境南町 2-10 杵築大社境内
竹内家のカキの木	境南町 個人
ふじの実保育園のフジ	緑町 3-4-3 ふじの実保育園内

## ②市内にある東京都指定文化財

名 称	種 別	所 在 地
江戸氏牛込氏文書	有形文化財	西久保 個人
吉祥寺旧本宿のケヤキ	天然記念物	吉祥寺本町 個人
井の頭池遺跡群	史 跡	御殿山 1 丁目、吉祥寺南町 1・3 丁目

## ③市内にある国指定文化財

名 称	種 別	所 在 地
小金井サクラ	名 勝	桜堤
玉川上水	史 跡	桜堤～御殿山
カラスバト	天然記念物	井の頭自然文化園
タンチョウ	特別天然記念物	井の頭自然文化園
コウノトリ	特別天然記念物	井の頭自然文化園
カモシカ	特別天然記念物	井の頭自然文化園
ツシマテン	天然記念物	井の頭自然文化園
ツシマヤマネコ	天然記念物	井の頭自然文化園
オオサンショウウオ	特別天然記念物	井の頭自然文化園水生物館
ミヤコタナゴ	天然記念物	井の頭自然文化園水生物館

## ④市内にある国登録文化財

名 称	種 別	所 在 地
濱家住宅西洋館	有形文化財	吉祥寺北町 個人

## 8-5 武蔵野ふるさと歴史館事業

管理運営基本方針に基づく歴史館の運営を適切に行い、広く来館者に対して魅力あふれる取り組みを行う。

平成 29 年度は、土曜開館が定着し多くの方に来館いただくことができた。そして、平成 30 年度から向こう 5 年間を期間とする、第 2 期の管理運営基本方針を策定するなど、次年度からの武蔵野ふるさと歴史館の運営についての準備作業を行った。

また、公文書館機能を果たすために、必要不可欠な公文書専門員（アーキビスト）を配置し、歴史公文書等の調査整理作業を推進するとともに、全庁的な歴史公文書等への理解と、適切な文書管理のための研修会等を実施し、啓発を図った。

### ① 開館日数・来館者

#### ◎開館期間

平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 30 年 3 月 31 日（土）

#### ◎開館日数

295 日

#### ◎来館者

40,561 人

#### ◎一日当たりの平均来館者数

137.49 人

### ② 企画展示

#### ◎企画展「井の頭と江戸」

日時：平成 29 年 4 月 22 日（土）～6 月 18 日（日）

場所：第二展示室

#### ◎企画展「幻となった武蔵野の未来図」

日時：平成 29 年 7 月 22 日（土）～9 月 28 日（木）

場所：第二展示室・市民スペース

#### ◎企画展 市制施行 70 周年記念「TARGET No.357～攻撃目標となった町、武蔵野～」

日時：平成 29 年 10 月 14 日（土）～12 月 28 日（木）

場所：第二展示室・市民スペース

来場者数： 10,535 人（一日平均 164 人）

#### ◎学校教育連携展示「まわるどうぐと武蔵野の暮らし」

日時：平成 30 年 1 月 20 日（土）～4 月 26 日（木）

場所：第二展示室・市民スペース・2 階展示スペース

### ③ 学校教育連携事業

平成 29 年度の学校教育連携事業は、「学校教育連携展示の作成」「見学の対応」「桜野小の 3 年生が学んだふるさと昔新聞展の開催」「学校出張展示の実施」「中学生職場体験の受入」「大学の授業での活用の受入」以上 6 つの事業を実施した。

#### ◎見学の対応

上記の学校教育連携展示や企画展の実施期間に「暮らしのうつりかわり」について学ぶ小学校 3 年生を対象に、市内の公立小学校からの見学を受け入れた。

## 学校見学日程表

見学日	学校名	時間	クラス	児童数
1月22日(月)	境南小学校	9:30-10:50	3	81
1月25日(木)	井之頭小学校	10:00-11:30	3	83
1月29日(月)	関前南小学校	10:00-12:00	2	49
1月30日(火)	大野田小学校	9:30-11:30	4	124
1月31日(水)	第二小学校	10:00-11:50	2	62
2月1日(木)	桜野小学校-1	10:00-12:00	2	77
2月5日(月)	本宿小学校	10:00-11:30	2	67
2月6日(火)	千川小学校	9:30-11:30	2	60
2月8日(木)	桜野小学校-2	10:00-12:00	2	77
2月13日(火)	第三小学校	10:00-11:30	2	68
2月15日(木)	第五小学校	10:00-12:00	2	72
2月20日(火)	第四小学校	10:00-11:30	2	49
2月22日(木)	第一小学校	9:40-11:40	2	70

### ◎桜野小の3年生が学んだ『ふるさと昔新聞』展の開催

内 容 当館に見学に来た桜野小の児童が制作した『ふるさと昔新聞』を当館で展示した。若い世代による「かつての武蔵野像」が描かれており、当館の資料への新しい視点を見ることができる。

期 間 平成30年3月24日(土)から4月8日(日)

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 2階ワークスペース

### ◎学校出張展示の実施

学校出張展示は本宿小学校2階のホールに、年中行事に親しんでもらうことを目的として実施した。「上巳の節供」と「端午の節供」にあわせてそれぞれの人形飾りなどを展示した。

### ◎中学生職場体験の受入

中学生の職場体験の受入は以下の表のとおり実施した。展示解説や館の概要などを説明したあと、ワークシートの作成や武蔵野ふるさと歴史館所蔵の資料の目録作りの補助、資料のクリーニングなどを行ってもらった。

学校	日程	受け入れ人数
第二中学校	平成29年5月23日・24日・25日	6人
第三中学校	平成29年6月15日	2人
第五中学校	平成29年9月21日	1人
第一中学校	平成29年9月26日	3人

### ◎大学の授業等の受入

大学の授業等で下記の団体を受け入れた。( )内は授業科目名

6月4日(日) 法政大学史学会

6月19日(月) 聖徳学園アフタースクール

7月8日(土) 日本獣医生命科学大学(学芸員課程生涯学習概論)

9月25日(月) 関東民具研究会

10月16日(月) 亜細亜大学経営学部(基礎ゼミナール)

11月18日(土) 法政大学大学院人文科学研究科(日本近世史特殊研究)

11月21日（火）	亜細亜大学都市創造学部都市創造学科（異文化コミュニケーション）
12月6日（水）	東京外語大学平和構築・紛争予防専修コース
12月11日（月）	国際基督教大学アジア文化研究所
12月18日（月）	亜細亜大学 教職員
12月19日（火）	亜細亜大学都市創造学部都市創造学科（異文化コミュニケーション）
12月26日（火）	昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科（民俗調査法）
12月26日（火）	東京外語大学平和構築・紛争予防専修コース

④ 武蔵野ふるさと歴史館分館資料室への資料移設及び関前文化財調査室兼収蔵庫の解体

平成29年7月19日（水）に関前文化財調査室兼収蔵庫より埋蔵文化財資料（図面、記録写真等）を分館資料室へ移設した。すべての資料を分館資料室へ移設したことにより、収蔵庫としての機能を終えたことから平成29年12月5日（火）より平成30年1月12日（金）まで関前文化財調査室兼収蔵庫の解体・整地工事を実施し、平成30年3月29日付で普通財産への変更手続きが終了した。

収蔵量	埋蔵文化財 1,310箱
	民俗資料 約1,600点
場 所	武蔵野市境南町4-1
敷地面積	1,319.97㎡
延べ床面積	310.52㎡
	（事務室兼収蔵庫 56.70㎡ 収蔵庫1 126.91㎡ 収蔵庫2 126.91㎡）

⑤ 歴史公文書等の移管・保存・公開

保存期間が満了した行政文書のうち、歴史資料として重要な公文書等を、武蔵野ふるさと歴史館に移管、保存、公開する。

◎平成29年度廃棄対象文書の選別

（ア）平成28年度末で保存年限を満了した行政文書について、要綱、選別基準及びガイドラインに基づき、以下のとおり選別を実施した。

・移管 169点 ・年限変更 15点 ・廃棄 8,696点（過年度分を含む）

移管：歴史公文書等に該当し、教育委員会で保存するもの

廃棄：歴史公文書等には該当せず、溶解等によって廃棄処分するもの

年限変更：主管課の業務上の必要性のため、30年保存文書の保存年限を10年間延長、10年以下保存文書は、より長い保存年限に変更した文書。

（イ）平成28年度以前にデジタル化を実施した10年以下保存文書の選別

平成28年度をもって10年以下保存文書のデジタル化を中止した。これに伴い標記文書について、上記と同一の基準に基づき、紙媒体で保存する文書の選別を実施した。

◎歴史公文書等の移管・選別に関する総務課との協力

4月17日（月）、同18日（火）、5月10日（水）に総務課主催のファイリング担当および文書取扱主任研修会、1月15日（月）に総務課主催の文書移管説明会において、歴史館、公文書館機能、歴史公文書の移管・選別等について説明をおこなった。

◎歴史公文書等管理委員会の設置及び開催

武蔵野市歴史公文書の管理に関する条例第25条第1項の規定により、公文書等管理委員会を設置した。

平成 29 年度歴史公文書等管理委員会

日時：平成 30 年 3 月 6 日（火）午後 2 時 00 分～3 時 00 分

会場：ふるさと歴史館 会議室

歴史公文書等管理委員会 委員名簿（任期：平成30年1月27日～平成32年1月26日）

名前	所属
安念 潤司	委員長・中央大学法学部教授
小川 まゆみ	小川法律事務所 弁護士
中野 達哉	駒澤大学文学部教授
船崎 尚	武蔵野市図書館運営委員会委員長
室井 敬司	亜細亜大学法学部教授

◎歴史公文書等の利用請求

1 件 2 点 （一般利用 0 点 庁内利用 2 点）

◎歴史公文書等に関する保存管理

(ア) 明治期作成の 16 点（うち 1 点は 大正期までの合冊文書）、大正期作成の 1 点 計 17 点の修復を業者に委託して実施した。

(イ) 市制施行以後作成の歴史公文書 27 点に対し、酸性紙性表紙の換装、金属具の除去、粘着テープの剥離等の作業を実施し、文書の劣化を予防した。

◎歴史公文書等に関する普及活動

(ア) 歴史公文書等の展示

市制施行 70 周年記念企画展「歴史公文書からみる市制施行周年行事」

開催日 平成 29 年 10 月 21 日（土）～平成 29 年 11 月 3 日（金）

協力 公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団

会場 武蔵野プレイス ギャラリー

内容 昭和 22 年 11 月 3 日の武蔵野の市制施行以後行われた周年記念行事について、歴史公文書を中心に、総務課保存の文書、武蔵野市地域映像アーカイブの映像資料をあわせて展示し、記念行事を振り返る。併せて、当館の公文書館機能を紹介するパネルを展示した。

(イ) 出講

市民向け講座に講師として出講し、歴史館の公文書館機能および歴史公文書の意義について普及活動をおこなった。

・平成 29 年 11 月 14 日（火） きりん塾（市民による自主学習団体） 参加者 14 名

・平成 30 年 2 月 10 日（土） 西久保コミュニティセンター 参加者 61 名

(ウ) 公文書管理にかかる職員研修

日時 平成 30 年 1 月 23 日（火）

講師 早川和宏氏（東洋大学法学部教授）「歴史公文書等の管理と職員～全職員が「現在及び将来の市民に説明する責任」を全うするために～」

参加者 51 名

内容 公文書館機能および歴史公文書に関する知識の深化を目的とし、課長級職員を対象とした講演会を実施した。

⑥ 企画展「井の頭と江戸」関連事業

◎講演会「井の頭御林にみる江戸幕府の森林政策」

日 時 平成 29 年 6 月 10 日（土）午後 2 時～4 時  
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース  
講 師 太田尚宏（国文学研究資料館准教授）  
内 容 井之頭御林が江戸幕府の森林政策の中で、どのように位置づけられるのか、その歴史的役割を解説した。

参加者 53 名

◎展示解説

日 時 平成 29 年 5 月 20 日（土）午後 1 時 30 分～  
平成 29 年 6 月 4 日（日）午後 1 時 30 分～  
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 第二展示室  
参 加 5 月 20 日 16 名／6 月 4 日 14 名

⑦ 企画展「幻となった武蔵野の未来図」関連事業

◎講演会「昭和前期・武蔵野町の様相－立川町と対比しながら－」

日 時 平成 29 年 9 月 16 日（土）午後 2 時から 4 時  
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース  
講 師 保坂一房（たましん地域文化財団歴史資料室室長）  
内 容 昭和前期の武蔵野町の特徴を立川町と対比しながら解説した。  
定 員 36 名

◎ワークショップ 武蔵野の未来のまちをつくってみよう！

a 自分だけの武蔵野のまちをつくろう

日 時 夏休み期間中の毎週木曜日 午前 10 時 30 分～正午  
講 師 武蔵野ふるさと歴史館学芸員・アーキビスト  
内 容 展示解説の後、武蔵野市の白地図のパネルの上に、駅、市役所、住宅、講演、病院、郵便局、商店街などさまざまな建物模型（積み木）を置いたり、道路や線路を描いて、自分だけのまちをつくる。最後にどんな町を作ったのか、皆で話し合い、作った作品にタイトルを付ける。

対 象 小学校 3 年生～6 年生及び中学生

定 員 各回先着順 5 名 参加者総数 17 名

b 町名パズルで遊ぼう

日 時 随時実施  
内 容 実現しなかった武蔵野市の町名と町の形をパズルにして、組み立てることで、今の武蔵野市の町名と町の形に至るまでの歴史的な紆余曲折を子どもたちにも理解してもらおう目的のハンズオン展示。市民スペース壁面に、町名整理図の中から 4 つの案について、磁石式のパズルパネルを製作し、展示。それぞれの町名整理図の町名と町の形を見ながら、武蔵野市内のどの地域の町名だったのか、パズルを組み立てる。

c 武蔵野の未来図を描こう

日 時 随時実施  
内 容 市民スペースに、武蔵野市の白地図（4 種類＝武蔵野市域の白地図・白地図に主な道路のみ・白地図に電車の線路のみ・白地図に主な道路と電車の線路）と、色鉛筆、パステルなどを準備し、来館した子どもたちに自由に、武蔵野市の未来図を描いてもらう。

◎展示解説

日 時 平成 29 年 8 月 26 日（日） 午後 1 時 30 分～  
日 時 平成 29 年 9 月 10 日（日） 午後 1 時 30 分～  
場 所 武蔵野ふるさと歴史館第二展示室



参 加 8月26日 5名／9月10日 9名

⑧ 企画展 市制施行 70 周年記念「TARGET No.357～攻撃目標となった町、武蔵野～」関連事業

◎講座「武蔵野中央公園の歴史探索と中島飛行機

～武蔵野ふるさと歴史館の企画展見学と現地ガイドツアー」

日 時 平成 29 年 11 月 5 日（日）

場 所 武蔵野ふるさと歴史館・武蔵野中央公園

講 師 合田宇宏（武蔵野市職員）

参加者 19 人

◎記念講演会「米国国立公文書館における調査・収集」

日 時 平成 29 年 10 月 14 日（土）

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 会議室

講 師 戸部和夫（NPO 法人沖縄・東アジア研究センター理事長）

参加者 26 人

◎プレ事業 企画展「戦争と武蔵野Ⅲ」

日 程 平成 29 年 8 月 12 日（土）～8 月 27 日（日）計 14 日間

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 会議室・ホワイエ

来場者数 1,854 人（一日平均 132 人）

◎出張プレ展示「この場所が、TARGET No. 357 だった。」

日 程 平成 29 年 10 月 3 日（火）～10 月 13 日（金）合計 9 日間

会 場 武蔵野市役所 1 階正面玄関 ホール・ショーウィンドー

◎武蔵野市平和の日イベントにおける講演（主管課：市民活動推進課）

日 程 平成 29 年 11 月 23 日（木）

講 師 合田宇宏（武蔵野市職員）

⑨ 文化財保護委員特別講義「井口一族の武蔵野開発と村の住まい」

日 時 平成 29 年 12 月 17 日（日）午後 1 時 30 分～3 時

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 2 階ワークスペース

内 容 江戸時代初期、武蔵野において複数の村の開発を担った井口一族の関係と当時の村の住まいについて解説した。

講 師 稲葉和也（市文化財保護委員）

定 員 52 名

⑩ 文化財保護委員特別講義「無形文化遺産としての祭ばやし」

日 時 平成 30 年 3 月 24 日（土）午後 1 時 30 分～3 時

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース

内 容 市指定の文化財ともなっている「むさしのばやし」のような「祭ばやし」の他地域での事例や、その内容などについて解説した。

講 師 久保田裕道（市文化財保護委員）

定 員 23 名

⑪ 夏休み子ども体験講座「大昔の暮らし体験 - 狩り - 」

日 時 平成 29 年 8 月 13 日（日）午後 1 時～3 時 30 分

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 前庭・第 1 展示室

講 師 林 徹（国際基督教大学講師）

応募者 市内在住・在学の小学 3 年生～中学 3 年生 46 名

受講者 26 名

⑫ 武蔵野市歴史探訪講座「中島飛行機武蔵製作所跡地と関連施設跡地をめぐる」

日 時 平成 29 年 12 月 3 日 (日)

場 所 武蔵野市役所・武蔵野緑町パークタウン・桃井原っぱ公園 (杉並区)・ひばりが丘パークヒルズ (西東京市)・下野谷遺跡公園 (同)

講 師 合田宇宏 (武蔵野市職員)

参加者 19 人

⑬ 武蔵野市歴史探訪講座「幕末から明治にかけての剣術事情——北多摩郡を中心に」

日 時 平成 29 年 12 月 2 日 (土) 午後 2 時～4 時

場 所 武蔵野ふるさと歴史館 ワークスペース

講 師 小島政孝 (小島資料館館長)

対 象 中学生以上

参加者 44 名

内 容 市域に残る天然理心流・近藤勇の書簡などを参照しながら、幕末期に多摩地域の農民層に広がった剣術ブームや文芸交流等について聴く。

⑭ 井の頭恩賜公園開園 100 周年記念武蔵野市・三鷹市共催事業講演会「ふかぼり井の頭 - 歴史を知る・暮らしを語る -」

概 要 平成 29 年 5 月で井の頭恩賜公園は開園 100 周年を迎えた。およそ 3 万年前から 100 年前までの井の頭の自然と歴史を知る講演会と井の頭と暮らしの関わりについてのトークイベントを開催。関連事業として、三鷹市役所での「井の頭と江戸」巡回展を行った。

◎「井の頭の歴史を知る」

日 時 平成 29 年 9 月 24 日 (日) 午前 10 時～午後 4 時

場 所 武蔵野市立武蔵野公会堂 ホール

受講者 311 名

	タイトル	講演者
1	井の頭池がいつからあるの? -地形と地質-	山崎 晴雄 (首都大学東京名誉教授)
2	初めて井の頭に来たヒトは?	長崎 潤一 (早稲田大学文学学術院教授)
3	日本で 2 番目に古い井の頭の土器	内川 隆志 (國學院大學研究推進機構教授)
4	井の頭恩賜公園の景観と植生について	濱野 周泰 (東京農業大学教授)
5	江戸時代の観光名所としての井の頭	馬場 憲一 (法政大学大学院人間社会研究科教授)
6	古文書にみる江戸時代の井の頭池と弁財天	中野 達哉 (駒澤大学教授)
7	井の頭恩賜公園の過去・現在・未来	田畑 貞壽 (千葉大学名誉教授)

◎「井の頭の暮らしを語る」

日 時 平成 29 年 10 月 29 日 (日) 午後 2 時～午後 4 時

場 所 三鷹産業プラザ 7 階

出 演 川井 信良 (株式会社文伸代表取締役社長)

岩崎 菊男 (井の頭町会参与)

土屋 恂 (カメラマン)

神沢 利子 (絵本作家)

インタビュアー 安田 知代・小田原 滯

入場者 56 名

⑮ 歴史館講演会 校長先生は語る「斉藤秀司校長のおはなし」

日 時 平成 30 年 3 月 31 日（土）午後 2 時～3 時  
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース  
講 師 斉藤秀司（武蔵野市立第二中学校校長）  
対 象 小学生以上  
参加者 106 名  
内 容 教員生活 40 年を迎え、万感の想いを込めて、今伝えたいことを伝える。

⑯ 武蔵野市歴史探訪講座「武蔵野ふるさと歴史館に、紙芝居一座がやってくる！」

第 1 回 平成 29 年 5 月 28 日（日） 午後 1 時 30 分～・午後 2 時 30 分～（各 30 分）  
第 2 回 平成 29 年 7 月 23 日（日） 午後 1 時 30 分～・午後 2 時 30 分～（各 30 分）  
第 3 回 平成 29 年 9 月 24 日（日） 午後 1 時 30 分～・午後 2 時 30 分～（各 30 分）  
第 4 回 平成 29 年 11 月 26 日（日） 午後 1 時 30 分～・午後 2 時 30 分～（各 30 分）  
第 5 回 平成 30 年 1 月 28 日（日） 午後 1 時 30 分～・午後 2 時 30 分～（各 30 分）  
第 6 回 平成 30 年 3 月 25 日（日） 午後 1 時 30 分～・午後 2 時 30 分～（各 30 分）  
場 所 武蔵野ふるさと歴史館 市民スペース  
対象者 来館者  
講 師 武蔵野昔話紙芝居一座 “むさしの”  
参加者 191 名（大人 122 名、子ども 69 名）  
内 容 昔懐かしい紙芝居で、武蔵野市の歴史や昔話を幅広い年齢層の方にご覧いただき、武蔵野への理解を深める。

⑰ 中島飛行機武蔵製作所関連資料調査

概 要 中島飛行機武蔵製作所関連資料調査は、太平洋戦争中および戦後にアメリカ軍等が作成・収集した中島飛行機武蔵製作所関連資料を調査するというものであり、業者委託により、アメリカ・メリーランド州にある米国国立公文書館新館（Archives 2）にて行った。平成 27 年度に実施した資料調査を基に、平成 28 年度は調査を継続しつつも、主に資料の収集を実施。平成 29 年 3 月末に委託業者より納品を受けた。平成 29 年度はこれらの成果を反映させた企画展をおこない、同企画展の図録を作成・頒布することで収集資料の活用を図った。

⑱ 旧島原市東京学生寮建造物調査（元中島飛行機女子寮）

概 要 平成 28 年に島原市東京学生寮の寮長を務められた方から、武蔵野市吉祥寺東町 2 丁目 45 番 11 号所在の旧島原市東京学生寮が、中島飛行機（中島飛行機武蔵製作所）の社員寮（女子工員寮）であったと当館に情報提供があり、現地確認を行ったが、中島飛行機武蔵製作所関連の建物である物的資料は確認されなかった。平成 29 年度中に島原市が建物を売却する意向であることが判明し、売却前に現地の記録保存調査が必要であると判断し、島原市の了解を得て、建築史家の稲葉和也氏（武蔵野市文化財保護委員）に現況建物の図化等、記録保存調査を依頼した。また、調査資料は報告書にまとめられ納品された。

調査期間 平成 30 年 2 月 25 日（日）・26 日（月）

調査者 稲葉 和也（武蔵野市文化財保護委員・建築史家）

結 果 建造物の記録調査を行ったが、棟札等は確認できず、中島飛行機の女子寮であったことを示すモノ資料は確認できなかった。今後は、近隣の東京女子大学への資料調査、近隣への聞き取り調査等継続的に行う。

## 9. 学校開放

生涯学習社会における学習、文化及びスポーツなどの地域活動の場として、小学校、中学校の施設を、学校教育に使用する時間を除き、市民に積極的に開放しています。平成4年10月には「武蔵野市立学校施設の開放に関する条例」を制定しました。

条例では、学校長は、学校開放に伴う管理上の責任を負わないものとするほか、施設の使用は、原則として有料とすることなどが盛り込まれています。

### 9 - 1 団体開放

条例の趣旨に従い、市立小中学校の校庭、体育館、テニスコート、特別教室、プールを各種団体に対して年末年始を除く毎日、午前9時から午後9時までの間で、学校教育で使用する時間を除いて開放しています（有料）。使用できる団体は、構成員の半数以上が市内在住・在勤・在学していることが必要です。なお、特に認められた団体や、高齢者・障害者団体については、減免の規定があります。現在次のような活動を行う団体が使用しています。

野球・サッカー・剣道・空手・合気道・バレーボール・インディアカ・卓球・テニス・バスケットボール・バドミントン・ダンス・コーラス等

### 9 - 2 市民スポーツデー

市民の体力向上とスポーツ振興の一環として、健康で明るく豊かな市民生活に寄与し、あわせて家族・学校・地域の一体化を図るため、7月・8月・3月を除く毎月第3日曜日をスポーツデーと定め、市立小学校12校の校庭及び体育館を開放しています。（現在は各校年5回開催）

## 10. 小中学生の音楽活動支援事業

市立小中学生の音楽活動に対して指揮指導等の支援を行うことにより、演奏技術の向上や専門知識を習得し、音楽活動のより一層の発展を図ります。

小学校ではクラブ・団体への合奏指導やパート練習指導、中学校ではむさしっこバンド（市立中学生による合同バンド）の練習指導と演奏会本番の指揮について支援しています。

# 1 1. 市民会館の活用

## 1 1 - 1 市民会館の概要

昭和 43 年 9 月現在地において市立第二小学校の移転に伴い、その木造二階建ての校舎を利用して開館したのが始まりです。

開館当初は市民のための貸館業務が主であったが施設の老朽化が進み、昭和 59 年 10 月全面改築を行い現在の市民会館に生まれ変わりました。

この改築を契機に市民の生涯学習への関心や認識が一層高まる中で、従来の貸館業務のほかに市民会館の自主事業を行うようになりました。

今日、市民会館は武蔵野市の社会教育の振興、市民及び地域社会の文化の向上と福祉の増進に寄与するための学習活動の拠点として、多くの市民及び団体に利用されています。

施設面では講座室・学習室をはじめ音楽室・美術工芸室・料理室の専用施設を有し、幅広く市民の学習に利用されています。

また、自主事業は、青少年教育として子どもワークショップ・遊びのミニ学校、成人教育として母と子の教室・市民講座等を開催しています。

なお、利用団体の学習成果の発表、団体間の交流の場として市民会館文化祭を開催しています。

平成 28 年 10 月より、男女平等推進センター「ヒューマンあい」が併設されました。

### ① 施設概要

施設名	武蔵野市立武蔵野市民会館
設立年月	昭和 59 年 10 月
所在地	武蔵野市境 2-3-7 TEL 0422-51-9144
交通機関	J R 中央線武蔵境駅北口 徒歩 5 分
構造	鉄筋コンクリート造 地上 2 階、地下 1 階
規模	敷地面積 1,541.31 m <sup>2</sup> 建築面積 890.763 m <sup>2</sup> 延床面積 2,086.47 m <sup>2</sup> (駐車場・駐輪場・花壇面積 1,122.90 m <sup>2</sup> )
開館時間	午前 9 時～午後 10 時
休館日	毎週木曜日、年末年始
使用料	原則として有料、社会教育関係団体等については減免措置あり
職員	再任用職員 3 名、嘱託職員 2 名、管理嘱託員 6 名

② 施設の内容

階	施設名	面積 (㎡)	定員 (名)	主な設備・器具
1階	ロビー・ミーティングルーム	103		冷水機、団体用ロッカー、展示用吊り金具
	保育室	97.5	30	流し台、砂場、幼児用トイレ
	印刷室	17.5		コピー機、デジタル印刷機
	倉庫	17.5		
	事務室	71		
2階	講座室	73	45	TV、ビデオ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、スクリーン
	第1学習室	60	30	TV、ビデオ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、スクリーン
	第2学習室	59	30	TV、ビデオ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、スクリーン
	会議室	43	12	TV、ビデオ、DVDプレイヤー、CDラジカセ、カーペット敷き、スクリーン
	多目的ルーム	59	28	鏡、バー、板張り、CDラジカセ
	第1和室	21畳	21	床の間、茶道具一式、水屋、座卓、座布団
	第2和室	15畳	15	座卓、座布団、CDラジカセ
	美術工芸室	73	30	イーゼル、陶芸窯、ろくろ、CDラジカセ
地階	料理室	81	24	調理台(4台)、電子レンジ、オーブン、冷蔵庫、調理器具、食器類一式、CDラジカセ
	音楽室	93	44	TV、グランドピアノ、五線黒板、指揮台、譜面台、音響設備、スクリーン、CDラジカセ、DVDプレイヤー
	集会室	155	90	TV、ビデオ、CDラジカセ、スクリーン、ピアノ(アップライト)、音響設備、マイク設備、暗幕、演台
	中庭			

\* 駐輪場 100台 駐車場 11台

## 1 1 - 2 市民会館運営委員会

市民会館運営委員会は、市民会館の適正な運営を図るため、武蔵野市立武蔵野市民会館条例第 18 条及び同条例施行規則第 14 条により設置されています。

運営委員会は、教育委員会の諮問に応じ、会館における事業の企画実施について調査し意見を述べることができます。運営委員会は委員 13 名以内で組織され、教育委員会が委嘱し、委員の任期は 2 年（再任は妨げない）です。

### 市民会館運営委員会委員名簿

(任期 平成 29 年 10 月 1 日～平成 31 年 9 月 30 日)

区 分	氏 名	備 考
第 1 号委員	阿 部 智 明	市立第二小学校校長
第 2 号委員	佐々木 大 輔	武蔵野青年会議所理事長
	磯 田 廣 史	アトリエ・コスモ（定期利用団体）
	加 藤 力 弥	コーラスグループ「ドリーム」 （定期利用団体）
	佐 藤 崇 子	フローラ・むさしの（定期利用団体）
	永 末 美 幸	市立第二小学校 P T A 会長
	大 鷲 美津江	西部コミュニティ協議会会長
第 3 号委員	池 田 明 子	亜細亜大学法学部講師
第 4 号委員	長谷川 雅 一	教育部生涯学習スポーツ課長

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

- 選出区分 第 1 号委員 市内に設置された各学校の長  
第 2 号委員 市内の教育、学術、文化、産業、労働、社会教育事業等に関する団体または機関を代表する者  
第 3 号委員 学識経験者  
第 4 号委員 市職員  
(武蔵野市立武蔵野市民会館条例施行規則第 14 条第 1 項 (1) ～ (4) 号)

11 - 3 市民会館自主事業

事業名		内 容	対象・回数・定員
青少年教育	子どもワークショップ	考える楽しさ、作る喜びを知り、創造力を養う。	小学3～6年生 1期 2教室 各回 24名
	遊びのミニ学校	親子で手作りの楽しさを味わう。	小学生とその保護者 2期 各3教室 各期 12～20組
成人教育	母と子の教室	母親は話し合いを通して仲間づくりをめざし、子どもは集団の中で遊ぶ楽しさを知る。	2歳から未就園児とその母親 1期 9回 20組 2期 6回 20組 3期 8回 20組
	親と子の広場	親子で楽しく遊び、親同士、子ども同士のふれあいの場とする。	1歳半から2歳半までの幼児とその親 4期 各4回 16組
	市民講座(美術・文学)	生活を豊かにするために、知識と教養を深める。	在住、在勤、在学 1期 1回 90名 3期 各3回 90名
	市民講座(料理)	家庭で作れる料理の指導を受け家庭生活に役立てる。	在住、在勤、在学 1期 1回 16名 2期 各2回 16名 (うち託児7名) 3期 1回 16名
団体育成交流	市民会館文化祭	定期利用団体の活動の成果を発表する場とする。	定期利用団体等 10月(6日間)
利用促進事業	利用者懇談会	利用者相互の情報交換を図るとともに会館利用についての意見要望を聴く。	利用者 年1回
	「交流」発行	定期的利用団体の紹介、会館の広報を通して、社会教育の振興を図る。	500部